

## 第9回大気化学討論会プログラム

( @群馬県伊香保温泉・ホテル小暮 )

[ 口頭発表 ] ( 発表 18 分、質疑 7 分 )

5月28日(水)

( 座長 : 猪俣敏 )

- 10:00 - 10:25 佐藤圭、Björn Klotz、畠山史郎、今村隆史 ( 国立環境研 )  
芳香族炭化水素/NO<sub>x</sub> 光酸化におけるエアロゾル生成の反応機構
- 10:25 - 10:50 河村公隆、小林実、坪沼宣行、持田陸宏、M. Lee、B. R. T. Simoneit  
( 北大低温研、Dept. of Earth and Environ. Sci., Korea University、College of Oceanic & Atmos. Sci., Oregon State University )  
東アジア域における有機エアロゾルの組成解析

( 座長 : 斉藤拓也 )

- 10:50 - 11:15 植松光夫、虎谷充浩、梶野瑞王 ( 東大海洋研、東海大開発工学、京大防災研 )  
三宅島噴火により放出された大気物質の沈着による海洋環境への影響
- 11:15 - 11:40 梶野瑞王、植田洋匡、薩摩林光、An Junling ( 京大防災研、長野県衛公研、中国大気物理研 )  
三宅島噴火による極東アジア域への環境影響
- 11:40 - 12:05 加藤俊吾、松本淳、定永靖宗、梶井克純 ( 科学技術振興事業団、東京都立大学工学部 )  
みらい MR03K01 航海での太平洋北西部における大気観測 - 速報 -

< 12:05 - 13:30 昼食 >

( 座長 : 奥田知明 )

- 13:30 - 13:55 笹川基樹、大木淳之、宇井剛史、植松光夫 ( 東大海洋研、北大地環研 )  
黄砂時における房総南方海域の大気中微量成分の変動
- 13:55 - 14:20 三浦和彦、岡田誠、児島紘、植松光夫 ( 東京理科大学理学部、東京理科大学理工学部、東京大学海洋研究所 )  
海面付近のエアロゾル鉛直分布の測定
- 14:20 - 14:45 永尾一平、加藤俊吾、大木淳之、梶井克純、植松光夫、田中浩 ( 名古屋大学、東京都立大学、東京大学海洋研究所 )  
春季の西部北太平洋における DMS とその関連物質の分布

( 座長 : 持田陸広 )

- 14:45 - 15:10 猪俣敏、今村隆史、佐藤あすか、鷲田伸明、( 国環研、京大院理 )  
CH<sub>3</sub>SO<sub>2</sub> ラジカルの反応
- 15:10 - 15:35 森田明弘、杉山正和、亀田浩史、幸田清一郎、David R. Hanson ( 京大理、東大工、上智大理工、NCAR )  
水の凝結係数 分子動力学および流体シミュレーションによる理論

15:35 - 15:55 - ポスター紹介 - ( 谷本浩志 )

< 15:55 - 17:55 ポスターセッション >

5月29日(木)

(座長：加藤俊吾)

- 9:00 - 9:25 横内陽子、和田誠、稲垣敏博、三浦和彦、笹川基樹、野尻幸宏、向井人史、Paul Frase、Desiree Toom-Sauntry (国立環境研、国立極地研、航空宇宙技研、東京理科大、東大海洋研、CSIRO・オーストラリア、MSC・カナダ)  
大気中クロロホルムの分布と発生源について
- 9:25 - 9:50 谷本浩史、向井人史 (国立環境研究所大気圏環境研究領域、国立環境研究所地球環境研究センター)  
オゾンの標準校正スケール策定の検討と国際相互比較実験
- 9:50 - 10:15 須藤重人、米村正一郎、早坂洋史、B. H. サハルジョ、木方展治 (農業環境技術研究所、北海道大学工学部、ボゴール農科大学)  
バイオマス燃焼から発生する大気微量気体の広域定量評価への試み
- 10:15 - 10:40 工藤新吾、角皆潤、中川書子、蒲生俊敬、中澤高清、青木周司、本田秀之 (北大院・理、東北大院・理、宇宙研)  
成層圏二酸化炭素における非質量依存酸素同位体異常の定量

< 10:40 - 10:55 休憩 >

(座長：角皆潤)

- 10:55 - 11:20 町田敏暢、O. Krasnov、渡井智則、下山宏、井上元 (環境研、トムスク大気光学研、地球人間環境フォーラム)  
タワーと航空機を利用した大気境界層とその上部での二酸化炭素濃度の高頻度観測
- 11:20 - 11:45 青木周司、中澤高清、町田敏暢、菅原敏、森本真司、橋田元、山内恭、川村賢二、本田秀之 (東北大理、環境研、宮教大、極地研、ベルン大、宇宙研)  
成層圏における二酸化炭素濃度および同位体の分布と変動
- 11:45 - 12:10 遠嶋康徳 (国立環境研究所)  
重量充填法による大気中の O<sub>2</sub>/N<sub>2</sub> 比測定用標準ガスの調整と大気中 O<sub>2</sub> 濃度の再評価

< 12:10 - 13:30 昼食 >

< 13:30 - 15:45 ポスターセッション >

(座長：辻和秀)

- 15:45 - 16:10 北和之、近藤豊、森野悠、宮川拓真、池田響、竹川暢之、廣川淳、T. L. Thompson、R. S. Gao、D. W. Fahey (茨城大・理、東大先端研、北大地球環境、NOAA Aeronomy Lab.)  
大気硝酸測定用小型化学イオン化質量分析装置の開発
- 16:10 - 16:35 佐藤あすか、増本一郎、鷲田伸明、猪俣敏 (京大院理、国環研)

- ハロアルケンと OH ラジカルの反応  
16:35 - 17:00 高橋けんし、中山智喜、松見豊、Susan Solomon、下條竜夫、繁政英治、Timothy J. Wallington (名古屋大 STE 研、NOAA/Aeronomy Lab.、分子研 UVSOR、Ford Research Laboratory, U.S.A.)  
SF<sub>5</sub>CF<sub>3</sub> の大気寿命と温暖化係数

< 17:00 - 18:00 大気化学研究会総会 >

【 懇親会 】

5月30日(金)

(座長：笠井康子)

- 9:00 - 9:25 鈴木睦 (NASDA/EORC)  
地球観測の新展開を迫られて 静止衛星からの大気化学観測の可能性
- 9:25 - 9:50 齋藤尚子、林田佐智子、中島英彰、横田達也、杉田孝史、小林博和、笹野泰弘 (国立環境研究所、奈良女子大学)  
ILAS による極域成層圏雲の解析および ILAS-II 初期観測結果について
- 9:50 - 10:15 中山智喜、高橋けんし、松見豊 (名大院理、名大太陽地球環境研)  
オゾンの光解離による O(<sup>1</sup>S)原子の生成とその成層圏化学へのインパクト

< 10:15 - 10:30 休憩 >

(座長：長濱智生)

- 10:30 - 10:55 岩崎俊樹、宇野幸代、氏家将志、宮崎和幸 (東北大学大学院理学研究科)  
等温位面上の帯状平均に基づく子午面循環について
- 10:55 - 11:20 宮崎和幸、宇野幸代、岩崎俊樹、柴田清孝、折戸光太郎、千葉長 (東北大院・理、気象研究所)  
2002 年オゾンホール分裂現象の解析 (a)EP フラックスの長期解析 (b)CTM による解析
- 11:20 - 11:45 須藤健悟、秋元肇、高橋正明、野沢徹、神沢博 (地球フロンティア、東大気候システム研究センター、国立環境研究所)  
全球化学気候モデル CHASER を用いた対流圏光化学場の将来予測シミュレーション

< 11:45 - 13:15 昼食 >

(座長：町田敏暢)

- 13:15 - 13:40 松見豊、重森博之、鈴木崇文、高橋けんし (名大院理、名大 STE 研)  
レーザー誘起蛍光法を用いた大気 SO<sub>2</sub> 計測装置
- 13:40 - 14:05 田中健太、澤田寛己、鈴江崇彦、竹中规訓、坂東博 (大阪府大院工)  
DOAS を用いた HONO, NO<sub>2</sub> 同時測定の可能性

- 14:05 - 14:30 近藤豊、小池真、北和之、竹川暢之、駒崎雄一、廣川淳、河村公隆  
(東大先端研、東大理、茨城大理、北大院地球環境、北大低温研)  
大都市域におけるエアロゾル・オキシダントの化学過程の研究計画  
(座長：金谷有剛)
- 14:30 - 14:55 大島長、小池真、近藤豊、北和之、竹川暢之、宮崎雄三、中村尚、  
他 PEACE サイエンスチーム (東大理、東大先端研、茨城大理)  
春季西太平洋で観測された自由対流圏中での人為起源物質の増大  
PEACE-B 航空機観測と気象解析
- 14:55 - 15:20 中村憲司、近藤豊、小池真、北和之、竹川暢之、宮崎雄三、他 PEACE  
サイエンスチーム (東大先端研、東大院理、茨城大理)  
冬季 - 春季におけるオゾン生成速度の季節変化 PEACE 航空機観測よ  
り
- 15:20 - 15:45 畠山史郎、高見昭憲、王偉、湯大綱 (国立環境研究所、中国環境科  
学研究院)  
中国上海周辺における大気汚染物質の航空機観測

**[ ポスターセッション ]** (ポスターサイズ：縦 210cm / 横 120cm 以内)

5月28日(水) 15:55 - 17:55、 5月29日(木) 13:30 - 15:45

- P-01 : 陳亮、忽那周三、徳橋和明、関屋章 (産業技術総合研究所)  
C<sub>2</sub>F<sub>5</sub>OC(O)H、n-C<sub>3</sub>F<sub>7</sub>OC(O)H と OH ラジカルの気相反応速度定数の測定
- P-02 : Junya Ueda, Yukio Nakano, Satoshi Hashimoto, Masahiro K (Department of  
Molecular Engineering, Kyoto University; Hirosima City University)  
Cavity Ring-Down Spectroscopic Study of Wulf-Chappuis Band of Ozone
- P-03 : 江波進一、中野幸夫、橋本訓、川崎昌博 (京都大学・工学研究科・分子工学)  
海洋上におけるヨウ素化合物の反応
- P-04 : 川口紀光、中道真司、須藤洋志、橋本訓、川崎昌博、井上元 (京大院工、環  
境研)  
CW ダイオードレーザーを用いたキャビティリングダウン分光法
- P-05 : シンジャワ、永井陽子、楠原正之、三好明 (東大院工)  
負イオン化質量分析法による RO<sub>2</sub> と NO の反応速度の測定
- P-06 : 高橋けんし、松見豊、Michael D. Hurley, Timothy J. Wallington (名古屋大 STE  
研、Ford Research Laboratory, U.S.A.)  
赤外分光法による新規エーテル化合物 CHF<sub>3</sub>OCHF<sub>2</sub>CF<sub>3</sub> の大気酸化反応の生成  
物の検出と温室効果係数の評価
- P-07 : 辻和秀、木曾伊織、河合明雄、渋谷一彦 (東工大院理工)  
O<sub>3</sub>・H<sub>2</sub>O 錯体の光化学反応の研究
- P-08 : 西田哲、高橋けんし、松見豊、M. D. Hurley, T. J. Wallington (名大院理、名大  
STE 研、Ford Research Laboratory U.S.A.)  
アルデヒドと塩素原子の大気圧条件下での反応過程
- P-09 : 西田哲、高橋けんし、松見豊 (名大院理、名大 STE 研)  
成層圏 NO<sub>x</sub> 生成反応 O(<sup>1</sup>D)+N<sub>2</sub>O に関する新しい知見
- P-10 : 亀田浩史、廣川淳、幸田清一郎 (東大院工、北大院地球環境、上智大理工)  
濡れ壁法による大気微量化学種の液体への取り込み

- P-11 : 竹川秀人、箕浦宏明、山崎哲 (豊田中央研究所)  
二次有機エアロゾル生成に対する NO 共存の影響
- P-12 : 原野安土、森山豊和、宝田恭之 (郡大工)  
鎖状均一微小液滴を用いた SO<sub>2</sub> の反応吸収機構の解明
- P-13 : 原野安土、赤星央、青木豊、宝田恭之 (郡大工)  
EDB を用いたナトリウム系単一微小粒子と SO<sub>2</sub> の反応機構の解明
- P-14 : 持田陸宏、河村公隆 (北大低温研)  
エアロゾル吸湿特性の解明を目的とした H-TDMA システムの開発
- P-15 : 金谷有剛、曹仁秋、梶井克純、秋元肇 (地球フロンティア・観測フロンティア、地球フロンティア・フロンティア研究推進課、東京都立大)  
レーザー誘起蛍光法を用いた大気中 OH ラジカル測定装置の高感度化 レーザーと蛍光検出器の性能向上
- P-16 : 定永靖宗、若園陽子、梶井克純 (科技団、都立大院工、都立大工)  
対流圏 OH ラジカル濃度及び大気寿命測定装置の開発
- P-17 : 須藤洋志、井上元 (国立環境研究所)  
小型・小電力メタン計測装置の開発
- P-18 : 谷本浩志 (国立環境研究所大気圏環境研究領域)  
気相 PAN 校正装置の開発と性能評価
- P-19 : 廣川淳、近藤豊 (北大院地球環境、東大先端研)  
化学イオン化質量分析法を用いたアンモニア濃度測定装置の開発
- P-20 : 森野悠、近藤豊、北和之、廣川淳、竹川暢之、池田響、宮川拓真、T. Thompson、R.Gao、D. Fahey (東大先端研、茨城大理、北大地球環境、NOAA)  
化学イオン化質量分析法(CIMS)による大気硝酸測定装置の試験結果
- P-21 : 斉藤拓也、横内陽子、青木周司、中澤高清 (学振、環境研、東北大院・理)  
氷床コア中の塩化メチル測定法の開発
- P-22 : 奥田知明、上田英子、田中茂、K. He, Y. Ma, Y. Lei (慶應大・理工、清華大・環境工)  
中国北京市における降水中化学成分の特徴
- P-23 : 小松大祐、中川書子、角皆潤、蒲生俊敬、野尻幸宏 (北大院理、国立環境研)  
海洋大気中における一酸化炭素、酸素安定同位体比の緯度別分布
- P-24 : パクボン ポチャナート、秋元肇、タマラ ホウーチャ (地球フロンティア研究システム、ロシア科学アカデミーシベリア支部湖沼学研究所)  
東シベリアへの大気汚染物質のトランス・ユーラシア輸送に関する検討
- P-25 : 山口潤子、角皆潤、小松大祐、中川書子、蒲生俊敬、秋山賢一 (北大院理、日本自動車研究所)  
炭素安定同位体比を指標に用いた大気中ベンゼンの起源と挙動について
- P-26 : 山地一代、大原利真、秋元肇 (地球フロンティア)  
アジアの家畜を起源とする大気成分のエミッションインベントリーの開発
- P-27 : 渡井智則、町田敏暢、O. Krasnov、山本昌則、井上元 ((財)地球・人間環境フォーラム、国立環境研究所、トムスク大気光学研究所)  
西シベリア・ベレゾレチカにおける大気境界層内とその上空の CO<sub>2</sub> 濃度観測  
大気境界層内 CO<sub>2</sub> 濃度変動のタワー観測
- P-28 : 笠井康子、遠藤真紀、村山泰啓、ニコラスジョーンズ、フランクマークレー (Communications Research Laboratory, Tokyo University of Science, University of

Wollongong, University of Denver )

ポーカーフラット FTIR により観測された対流圏 CO 2000-2002 年における季節変化

P-29 : 村田功、福西浩、中根英昭 ( 東北大 環境、東北大 理、国立環境研 )  
FT-IR を用いた地上分光観測による大気微量成分高度分布導出の精度

P-30 : 長濱智生、中根英昭、藤沼康実、森平淳志、水野亮、小川英夫、福井康雄 ( 国立環境研、富士通 VLSI、名大 STEL、大阪府大、名大理 )  
環境研ミリ波分校計による成層圏・中間圏オゾンモニタリングの現状と今後